

2024年1月29日

2025 JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH
60th キッチン・バス工業会

News Release

ニュースリリース

広めよう
11月2日は
キッチン・バス
の日

2024年1月12日 キッチン・バス工業会は、 新年賀詞交歓会を開催しました。

キッチン・バス工業会(会長:西尾 匡史 パナソニック ハウジングソリューションズ(株) 代表取締役 副社長執行役員/会員 88社)は、2024年1月12日(金)、総勢 229名の参加による新年賀詞交歓会を明治記念館(東京・港区)にて開催しました。

会に先立ち、令和6年能登半島地震でお亡くなりになられた方々に対し全員で黙とうを捧げました。西尾会長の挨拶に始まり、清水副会長(TOTO(株))の乾杯発声後、しばしの歓談とともに、新しく入会されたイビケン(株) 臼井代表取締役社長より挨拶があり、吉本産業(株) 吉本代表取締役の中締めにより、盛況のうちに終了しました。

西尾会長 挨拶

「キッチン・バス工業会は 2025 年に 60 周年を迎えます」



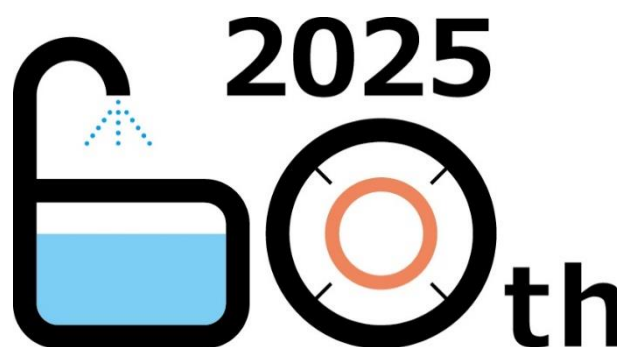
まず初めに、1月1日に発生しました能登半島地震におきまして被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。あわせまして、皆様のご安全と一日も早い復旧・復興をお祈りする次第でございます。また、今後の復旧・復興に向けて工業会としても全力で支援してまいりたいと思っておりますので、会員各社様のご支援・ご協力を何卒お願い申し上げます。

あらためまして新年あけましておめでとうございます。本日は大変お忙しい中、令和 6 年の新年賀詞交歓会に参加を賜りまして誠にありがとうございます。また平素より工業会活動に多大なるご支援をいただき重ねて厚く御礼を申し上げます。

今年は十干十二支(じっかんじゅうにし)で言いますと、甲辰(きのえたつ)です。甲(きのえ)は十干の最初に位置するところとして、生命の始まりや物事の始まりを意味するところ。また十二支の辰は干支の中で唯一想像上の生き物です。昇り龍に象徴されるように力強さ、あるいは成功を象徴していることから、新たな始まりやチャンスの兆しと捉えることができます。この甲(きのえ)と辰(たつ)の二つが合わさった年は、成功につながるための努力が種の内側でどんどん育っていくような年だそうです。我々を取り巻く環境は決して良いとは言えませんが、当工業会全員で知恵を出し合い、成功の種を育てて業界の持続的成長を果たしてまいりたいと思う次第です。

今年も当工業会として様々な活動をしてまいりますが、経済産業省で進めておられます「カーボン・フット・プリントガイドライン」を受け、「ライフサイクルアセスメント製品別算定ルール統一化」に注力してまいります。算定ルールを統一化することにより、受け手側の混乱防止や透明性の確保、また、会員各社の負担軽減など業界のメリットにつながると確信をしております。具体的にワーキンググループを立ち上げ取り組んでまいりますが、会員各社様のご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、当工業会は来年 2025 年に前身であるステンレスシンク工業会発足から 60 周年を迎えることになりました。長きにわたり続けてこられましたのも諸先輩方、そしてこの会を支えていただいている多くの方々のおかげであり、感謝の念に堪えません。本当にありがとうございます。そして、この60周年の告知活動の一環として記念ロゴを作成いたしました。事務局が手作りで考えた



ロゴで、キッチンの加熱コンロとお風呂のシャワーを基にデザインしております。お見知りおきいただくと同時に、これを機に当工業会の更なる認知向上に努めてまいりたいと思う次第です。

結びになりましたが、各社様の弥栄(いやさか)と本日ご列席の皆様のご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

乾杯 清水副会長(TOTO株式会社 取締役 常務執行役員)

「3省連携による住宅省エネキャンペーンの活用や業界課題に取り組んでいきます」



皆様、あけましておめでとうございます。

まず私からも令和6年能登半島地震で被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い安全確保、そして復興につながるように、心よりお祈りしております。

さて、昨年を振り返らせていただきますと、国内情勢に関して部品がひっ迫する時期もありましたがだいぶ落ち着き、新型コロナが5類に移行したこともあって、やっと通常の経済活動ができるようになってきたと感じる一方、世界を見ますとまだまださまざまなことが起きています。また、今年は年始から予期せぬことが起きていますが、皆様と多くの業界課題について連携し取り組むことで成果を積み重ね、年末に今年一年を振り返ればよい年にしたいと思っております。

本日は二つほどお話しさせていただきます。一つは、先ほど西尾会長からもお話がありました。当工業会内に温室効果ガス、環境負荷算定の検討ワーキンググループが立ち上がりました。これについては個社ではなかなか検討できない課題です。2021年に物流課題特別委員会が立ち上がり、非常によいアウトプットをしてくれていますのでぜひこの検討ワーキンググループについても、業界へ道筋をつけていただきたいと期待しております。

もう一つは昨年からの3省連携による住宅省エネキャンペーンを今年も継続いただいていることです。これは業界にメリットがあるだけでなく、カーボンニュートラルにつながる非常によい機会ととらえ、当工業会としても重点的に取り組んでいき、工業会の発展のみならず、持続可能な社会の実現に貢献できればと思っております。

皆様もよろしく願いいたします。

新入会員ご挨拶 臼井 勝弘様(イビケン(株)代表取締役社長)
「キッチン・バス工業会の発展に寄与します」



当社は岐阜のイビデン株式会社のグループ会社として、50年ほど前から建材、住設関係の商品を取り扱わせていただいております。本日ご参集のメーカー様に、多大なるご高配をいただいておりますことをまず御礼申し上げます。

また、すでにご承知おきとは存じますが、昨年の10月にDICデコール様の住宅建材事業を当社に移管し、このキッチン・バス工業会に入会させていただいた次第です。微力ではありますが、今後当工業会の益々の発展に少しでも力になれるように努力してまいりますので、引き続き、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

中締め 吉本 明義様(吉本産業(株) 代表取締役)
「力強く関東一本締め」



今年は年初より能登半島地震が発生したこともあり、あまりおめでたい感じの中締めはできませんが、しっかり力強くやらさせていただきます。

当工業会の益々の発展と本日ご臨席の皆様方のご健勝を祈念させていただきます。

【会場風景】



左から、西尾会長挨拶 会場全景 60周年ロゴお披露目 清水副会長乾杯の発声 懇談風景

【本件に関する問合せ先】 〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-9 大門ビル 3階
キッチン・バス工業会 TEL03-3436-6453 fax03-3436-6454
e-mail:kitchen.bath@nifty.com